

令和3年度第1回4機構公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和3年12月 8日 (水) 13:30~15:30 高エネルギー加速器研究機構特別会議室特別会議室 (※WEB会議)	
委員	委員長 竹内 啓博 (公認会計士) 委員 溝内 健介 (弁護士) 委員 福手 孝人 (国立大学法人施設担当部長)	
幹事機構	高エネルギー加速器研究機構	
審議対象期間	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
抽出案件(合計)	5件	(備考)
建設工事(小計)	4件	別紙「議題5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議」のとおり、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申	別紙のとおり	

建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件

番号	機 関 名	建設工事及び設計・コンサルティング業務
(1)	人間文化研究機構 (本 部)	(桂坂) 国際日本文化研究センター基幹・環境整備(熱源設備Ⅱ改修) 工事
(2)	自然科学研究機構 (岡崎3機関)	(明大寺) 動物実験センター棟外壁改修その他工事
(3)	高エネルギー加速器 研究機構 (本 部)	基幹整備(KEKB地区等特別高圧ケーブル更新) 工事
(4)	情報・システム研究機構 (国立情報学研究所)	(西千葉(情報研)) 千葉分館無停電電源装置移設等工事
(5)	自然科学研究機構 (国立天文台)	(ハワイ山頂) すばる望遠鏡観測ドーム空調設備改修設計業務

※機関名欄の()は、発注部局を示す。

意見・質問	回答
<p>議題1. 4 機構において発注した建設工事について</p> <p>・特になし</p>	<p>—</p>
<p>議題2. 4 機構において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>・随意契約にて予定価格の作成を省略された業務があるが、作成と省略の違いを教えてください。</p>	<p>・随意契約かつ一定額を下回った場合は省略することができる。予定価格の作成を省略した業務は少額案件である。</p>
<p>議題3. 指名停止等の措置状況について</p> <p>・特になし</p>	<p>—</p>
<p>議題4. 審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <p>・特になし</p>	<p>—</p>

意見・質問	回答
<p>議題5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>(1) 低入札業者80%以上 【人間文化研究機構(本部)】 (桂坂) 国際日本文化研究センター基幹・環境整備(熱源設備Ⅱ改修) 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事は問題なく終了したのか。 ・ 予定価格を大きく下回った結果について、積算時には予測できない部分ではあると思うがどう考えられるか。 ・ 落札業者の評価点は応札者の中では低い方ではあったが、問題なく工事も終了したことから、競争がしっかりと働いたといえる案件であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約のとおり問題なく終了した。 ・ 企業努力によるものと考えられる。開札結果を踏まえ提出いただいた参考見積の確認を行った結果、改修主要機器の見積低減率が約半分程であった。見積低減率は近隣地域の他大学等に確認して決定している。見積低減率が大きく異なった点は、発注時に機器が安価で取引されていた可能性もあるが、業者の企業努力によるものと考えている。

意見・質問	回答
<p>(2) 低入札業者80%以上 【自然科学研究機構(岡崎3機関)】 (明大寺)動物実験センター棟外壁改修その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事は問題なく終わったようだが、工事成績の点数はどうか。 ・ 特に問題はないかと思う。 ・ 早期発注によって価格が低くなっている良い事例だと思う。 ・ 1者最低基準価格を越えている業者がいるが、等級は高いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70点以上で問題ない。 ・ 補足説明として、令和2年4月10日から公告を行い、かなり早い公告であった。工事の平準化について、4～6月の工事/年度工事で、岡崎地区では0.5であった。4～6月に休業状態となっている企業の状態を理解できる。 ・ D等級であった。一番低い等級。小さい業者のため、職人を多く抱えていないのではないかと考えている。

意見・質問	回答
<p>(3) 一者応札、不落随契、特別重点調査対象案件</p> <p>【高エネルギー加速器研究機構(本部)】 基幹整備(KEKB地区等特別高圧ケーブル更新)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料請求は3者ということで、技術的に高い工事だったのか。 ・ 3者とも技術力がある業者であるのか。 ・ 参加しなかった業者がいるのは、こちらの求めている資格を持つ人数等の設定が厳しいのか。 ・ 不落随契ということだが、交渉の内容はどういったものか。 ・ 高圧ケーブルで仕様の内容は変えることはできないので、価格を下げるしかないのか。 ・ どの程度の期間交渉したのか。 ・ 特殊な工事であると理解している。今回落札した業者は、当初ケーブル工事を施工した業者なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的に高い工事である。 ・ 3者とも技術力の高い業者である。 ・ その通りである。技術者の配置が難しいとのことで参加しなかったと聞いている。 ・ 不落随契対象業者の営業担当にきてもらい、対面で話し合いを行い、金額をどのくらいまで下げられるのか話し合いを行った。 ・ その通りである。価格は材料費がほとんどである。メーカーの企業努力により下がったと思っている。 ・ 1週間程度である。1度会社に持ち帰り、1週間以内に返事をもらった。 ・ 30年以上前のことになるが、各特高設備の工事を別々の業者が請け負っており、それぞれが分担してケーブルをひいたと記憶している。今回、参考見積を徴取したが、入札への参加はなかった。

意見・質問	回答
<p>(4) 6,000万円以上の少額でない随意契約、 【情報・システム研究機構（国立情報学研究所）】 （西千葉（情報研））千葉分館無停電電源装置移設等工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源装置を納品した業者の関連した業者しかできないことは理解した。金額はどのように決定したのか。 ・無停電電源装置を移設するのではなく新設する場合とのコストの違いは事前に検討したのか。 ・仮に他のメーカーが自分の装置を移設したらいくらかかるのか、などの情報収集はしなかったのか。 ・納品した業者も難色も示したとのことで、新設をすすめられたのか。 ・結果、保証はされているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部と相談しながら予定価格を策定した。当初の見積価格に従前より準用していた低減率を掛けて算出した金額と、契約予定業者の出精値引き後の参考見積を比較し、安価な方を採用した。機器には価格があるが、人件費等については、技術料を含めた業者の単価を採用している。工事全体を特定工事扱いとしたため、機器及び人件費等の全てに低減率を掛けて査定している。結果的には出精値引き後の参考見積が低くなった。 ・新設した場合とのコスト比較は事前に行っていない。平成24年に購入した時は約7,400万円であった。法定耐用年数に達しておらず、残存価値も3,000万円以上残っていたため、移設とした。 ・今回の工事は、既設UPS設備を一度分解して移設し、再度組み立てるという工事である。納品した業者もリスクが高く、難色を示していたため、他のメーカーに参考見積を依頼しても性能の保証が得られないため、提出してもらえないと考え、依頼はしなかった。 ・移設に際しては一度分解することから当初は保証ができないといわれ、新設をすすめられたが、前述の理由により移設することとした。 ・保証をしていただいた。

意見・質問	回答
<p>(5) 1者応札 【自然科学研究機構（国立天文台）】 (ハワイ山頂)すばる望遠鏡観測ドーム空調設備改修設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札ということであるが、当初のすばる望遠鏡の設計者が今回の落札者か。 ・ 競争参加資格として、ハワイの設計事務所との連携が重要な観点と考える。本件は一般競争方式でなく、連携等を評価できるプロポーザル方式がよかったのではないか。 ・ 入札にあたり、連携の部分はどのように確認を行ったのか。 ・ 契約変更にて増額を行っているのか。 ・ 設置時の設計を行った事業者がやるべきではなかったか。 ・ 業務は実施中か。 ・ 当初は設計のみの契約か。 ・ 変更契約時に工事監理業務等を追加しているが、別途調達としなかったのはなぜか。また、公告時に想定はされていなかったのか。 ・ 現地設計事務所と落札者との関係は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別の業者である。 ・ 別途現地調査にて現況把握と改善方法をまとめた予備検討書の作成をしており、その中で既存施設の改善策も示されていることから、新たな技術提案等は求める必要がないものと判断し、一般競争入札方式を採用した。 ・ 競争参加資格申請書の提出時に、過去の海外業務の実績を確認している。また、契約締結時には連携の実施について誓約書を提出させている。 ・ 1回目に工期延長、2回目に工期延長と増額を行った。 ・ 設置時の設計事業者の参考見積価格が予算額と大きく乖離しており、同事業者との契約交渉を行っても契約締結に至らなかったと考えている。 ・ 工事監理業務が実施中である。 ・ 設計及び積算の契約である。 ・ 公告時は、ハワイ観測所にて契約支援及び工事監理業務の調達を行う予定であったが、コロナウイルス感染拡大のため、ハワイ側で工事関連への人的リソースが不足したことから業務調整を行った結果、日本側で発注を行うこととなった。 ・ 落札業者のハワイ現地における協力会社である。

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・当初3ヶ月の工期が1年4か月に延長されているのは異常でないか。 ・業務目的上、工事監理業務等の発注を当初設計業務を落札した業者に追加したのはどのような理由か。 ・当初の調達内容に新たな業務を追加する場合には、契約変更ではなく別途調達手続きを経るべきである（意見）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約支援業務及び工事監理業務の追加による延長である。 ・施工業者の決定にあたり、ハワイ現地での業務公募手続き過程での質疑回答や、設計内容の説明伝達等は設計内容を熟知している必要がある。また、観測スケジュールへの影響を考慮し、短期間で設計内容や施工条件等を理解し、ハワイ現地設計事務所と連携しなければいけないという事情も踏まえ、既に現地の状況を把握し、設計内容も熟知する本業務履行中の落札者に、契約支援及び工事監理業務を追加業務として変更契約することとした。 ・今後は当初仕様がない業務を追加する場合には、契約変更ではなく別途調達手続きを行うことを検討したい。
<p>【抽出案件の審議総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（ハワイ山頂）すばる望遠鏡観測ドーム空調設備改修設計業務について個別の意見が付された点を除き、特段問題となる事項はなかった。 	
<p>議題6. その他</p> <p>特になし</p>	<p>—</p>